

## ★通常事業評価シート【R7年度実施事業／子ども家庭応援部子ども家庭課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	母子保健事業	安心して子どもを産み、 育てられている	母性及び乳幼児の健康の保持・増進を図るため、母子保健を推進する。	母子保健関係事業（母子健康手帳交付～各種健診、教室、相談事業）の実施	4：大いに近づいた	継続	176,564	79,221	255,785	事業を継続して、母性・乳幼児の健康の保持・増進を図る	5歳児健康診査の環境を整え、スムーズな事業開始を目指す。	
2	母子保健衛生費国庫補助金償還事業	安心して子どもを産み、 育てられている	母子保健衛生費国庫補助金の適正な執行のため、母子保健医療対策総合支援事業費を償還する。	前年度受入れ済み補助金の精算	4：大いに近づいた	継続	3,989	1,129	5,118			
3	こども家庭すこやかセンター運営事業	安心して子どもを産み、 育てられている	妊娠期を含めた子育て世帯への切れ目のない相談支援体制の強化を図るため、母子保健と児童福祉を一体的に機能させる体制を構築する。	子ども家庭相談受案件数 912件 サポートプラン手交数749件（相談32件、母子177件）	2：一定近づいた	継続	25,513	42,048	67,561	サポートプランを必要な場面で手交できるよう相談支援体制を整える。	サポートプラン様式の改善。及び効果的なサポートプランの交付と相談支援体制の継続。	
4	発達相談事業	安心して子どもを産み、 育てられている	子どもの成長期に関する発達状況等の不安を解消するため、発達に関する相談に応じ必要な助力・助言を行う。	発達相談事業（乳幼児健康診査の発達相談、巡回相談、のびのび教室の発達相談、トリプルPグループワーク、乳幼児発達相談。保育所の入所判定業務）の実施 発達相談結果の交付：283件	2：一定近づいた	継続	15,866	24,736	40,602	発達支援が必要な対象が増加傾向にあり、所属園との連携や保護者との個別相談、発達検査結果交付の件数が増大している。	業務量の増大に対して、対応できる体制整備ならびに、業務の効率化をはかる。	
5	妊婦等包括相談支援・支援給付事業	安心して子どもを産み、 育てられている	全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできる環境を整備するため、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ併走型相談支援の充実と経済的支援を行う。	相談支援率（妊娠中）99％ 相談支援率（産後）100％ 8か月アンケート後面談・電話件数1,072件 給付件数 2,529件（昨年度2,335）件	4：大いに近づいた	その他	124,225	17,506	141,731	外国籍の妊婦が増加しているため、コミュニケーションに関する課題あり。	妊婦等包括相談支援・支援給付事業として、経済的支援と併走型相談支援を引き続き行う。	
6	子育て短期支援事業	安心して子どもを産み、 育てられている	子育て家庭の育児負担を軽減するため、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合の支援を行う。	延年間利用人数 38人 受け入れ施設の空きがないため、契約施設を1ヶ所増やした。	2：一定近づいた	継続	218	1,129	1,347	受け入れ施設に空きがなく、利用希望に添えないことがある。	利用希望があれば早めに施設へ利用予約の調整を行う。	
7	児童虐待防止事業	子どもの健康と安全が保たれている	児童虐待を防止するため、児童虐待の早期発見及び早期対応並びに訪問指導を行う。	児童虐待通告の受案件数350件 児童虐待防止ネットワーク部会実務者会議34回	5：達成した	継続	8,092	58,598	66,690	支援対象家庭の増加への対応。問題解決に向けた支援や多機関との連携を行うためには、専門性の高い対応力と多くの時間が必要となる。	複数の職員で対応できる体制の確保。	
8	子ども家庭課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	こども家庭すこやかセンターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	4：大いに近づいた	継続	-	15,803	15,803	引き続き効率的な運用に努める。	業務の効率化を図るため、生成AIサービスの活用等DX化を推進する	
9	子育て短期支援事業費国庫補助金償還事業	安心して子どもを産み、 育てられている	子育て短期支援事業を適正に実施するため、国庫補助金の償還を行う。	前年度受入れ済み補助金の精算	2：一定近づいた	継続	146	-	146			